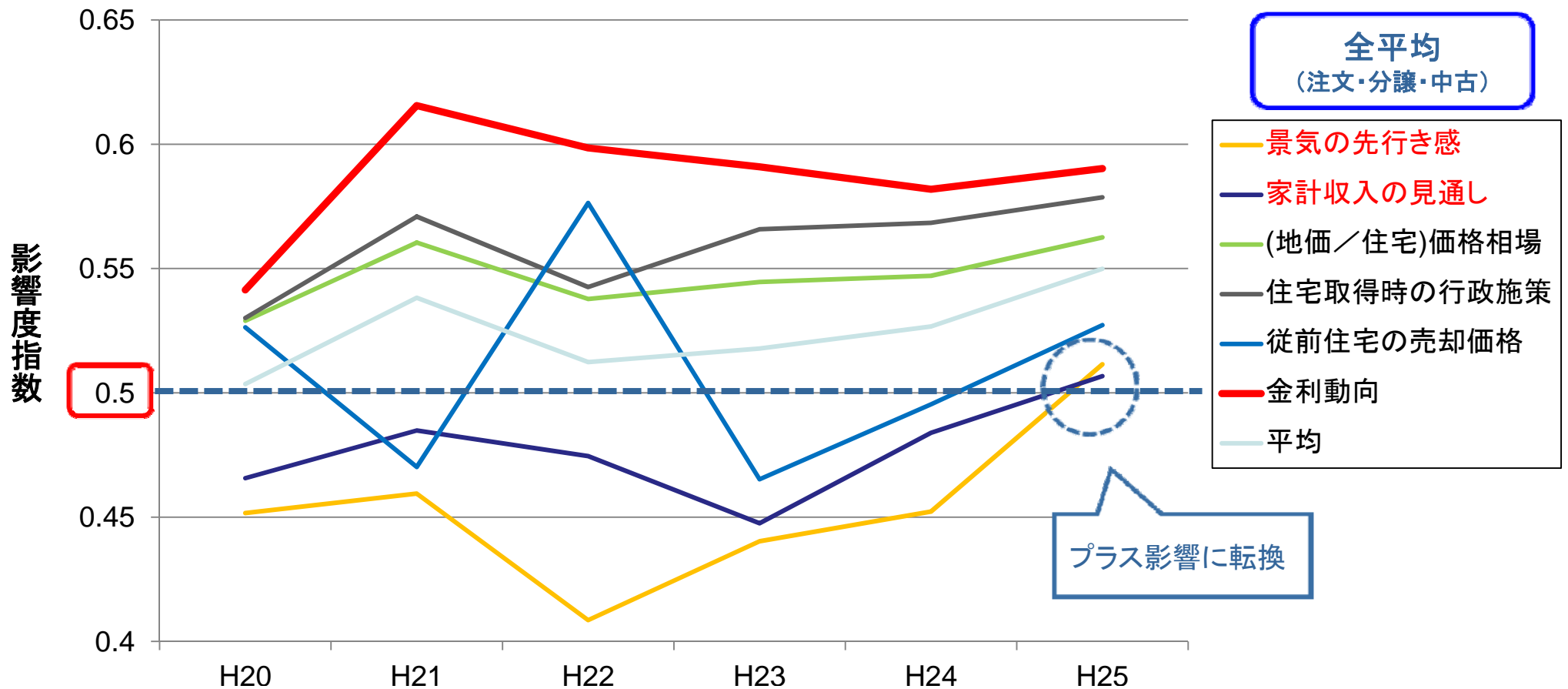


平成25年度 住宅市場動向調査

～結果の概要(抜粋)～

①住宅取得時に経済的要因が与えた影響度

H25年度の住宅取得時において各種経済的要因が与えた影響度では、前年度までマイナスに影響していた「景気の先行き感」、「家計収入の見通し」が改善し、他の項目を含め全ての項目でプラスになった。また、全項目において、前年度よりも改善している。



【影響度指標】

各要因に関する「大きなプラス影響」「多少のプラス影響」「影響なし」「多少のマイナス影響」「大きなマイナス影響」の5段階評価のそれぞれに、1、0.75、0.5、0.25、0の点数を与え、この点数を5段階評価の構成比で加重平均して各要因の影響を指標化した。指標値が0.5より大きい場合プラス影響、0.5より小さい場合マイナス影響となる。

②民間金融機関からの借入金における金利タイプ

民間金融機関からの借入がある世帯について、借入金の金利タイプを見ると、引き続き「変動金利型」のシェアが大きいものの、若干減少に転じており、「固定金利期間選択型(10年超)」や「全期間固定金利型(10年超)」を選択した世帯が増加に転じている。

